

太宰府中学校2学年だより

No.22

R3.12.15

文責:2年部 主任

～薬師寺のお坊様のお話～

修学旅行の1日目の奈良のホテルで、薬師寺のお坊様のお話(法話)をききました。皆さんは、お坊様の法話って難しい話かな、怒られるかもしれないと思っていたでしょう。ところがどっこい!テンポの良い切れ味のある話で、皆さんを抱腹絶倒の渦に引き込んだ40分間でした。失礼ながら、ハイレベルなお笑い演芸会を見ているようでした。

お話されたお坊様は「後藤伸行さん」とおっしゃいます。彼に関する記事が奈良新聞の記事に掲載されていたのでご紹介します。お坊様になる前に、企業に勤めていらっしゃったそうです。



「僧侶になったのはお薬師様のお導き」と話す後藤伸行さん

＝奈良市西ノ京町の薬師寺

3月30日に始まった薬師寺の修二会(花会式)で、昨年3月にサラリーマンを辞めて僧侶になった後藤信行さん(46)が、練行衆の1人として厳しい行に励んでいる。成人間もなく母を亡くし、親孝行できなかつたことへの懺悔(さんげ)も祈りに込める。

後藤さんは東京都出身。大学卒業後、旅行会社に就職し、ハワイでの結婚式をプロデュースする等、20数年のサラリーマン生活を送ってきた。

薬師寺の大谷徹^{てつじょう}執事と実家が近く大学時代は青年衆の一人として寺の行事を手伝った。管主だった故高田好胤師から「お前は坊さんになれ」と勧められたこともあったという。

東関東別院の潮音寺(茨城県)で常駐僧侶にと打診を受けたのは一昨年9月。「自分でいいのか、正座できるのか。」年内いっぱい悩んだ末、翌年3月に会社を辞めた。

「なりたいと思って叶うことではなく、お薬師様のお導き。高田管主の言葉を思い出した」と振り返る。

2カ月にわたる基礎修行を終えた時、85キロあった体重は70キロに減っていた。

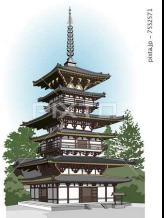
花会式も昼夜を問わない厳しい行。初参加の練行衆は新人(しんにゆう)と呼ばれる。罪を悔いて平和を祈る悔過(けか)法要だが、亡き母と高田師への感謝も捧げたいという。5月には潮音寺に戻るが「前向きに進化するのが人間。『あの人がいるからお参りに行こう』と言われたらうれしい」と話した。

2010年4月2日 奈良新聞

抱腹絶倒の中にも、人としての生き方を切々と熱く語って下さったお坊様。どんなお話だったか覚えていませんか。

話の内容を、下記にまとめたので、もう一度読んで思い出してみましょう。(メモをとりながら聴いていましたので、若干ニュアンスが違うかもしれませんがご了承ください)

- 修学旅行は勉強しにくるために来ている。来たときと帰ったときに、自分や学年のレベルが上がっていなければならない。同じレベルでは、下がったことと一緒に。
- 返事や挨拶は大きな声を出せ。まわりが声を出しているからしなくていいと思っていたら、まわりから相手にされなくなる。自分から率先して声を出せ。
- 「挨拶をする」「感謝をする」これをしないと、誰からも相手にされない。
- 顔が下がっていないか。下がる＝倒すとまわりが見えなくなる。見えないと不安になる。不安になると、人のせいにして攻撃する。そして、最後には、誰にも相手にされずに孤立する。それを「面倒(顔=面を倒す)」という。
- 逆に、顔を上げると、まわりが見えて、さっきとは逆で人が集まってくる。上げた顔は光をあびて顔が白く光る。それを「面白い(顔=面が白くなる)」という。
- もの後ろには影ができるように、すべての行動には影がある。日頃、影の存在に気づかないが、影が皆(あなた)を支えている。影に気づかず、「自分は一人で生きている」と思ったら大間違い。着ているジャージ一つとっても、自分がつくったのではなく、「誰かが生地を製作して、縫製して、お店が販売して、親が買ってくれた」ものである。皆、見えないところで、見えない力に助けられている。その影に感謝する気持ちから出たことばが「おかげさま」である。
- 世の中でいらない職業なんてない。何をすれば人に喜んでもらえるか、どこに行って何をしなければならぬか。いつも考えて行動しなさい。人に教えてもらうのではなく、自分で答えをみつけなさい。今、社会(世の中)はその力を求められている。



この法話は、皆さんだけでなく、大人である私たちにも、心にずしんと響いた内容でした。自分たちが、日々安全、安心して生きていられることに、改めて感謝しなければいけないと思いました。

修学旅行で、このようなすてきな話をいただけたことに「感謝」ですね。

保護者の皆様

修学旅行で業者や生徒が撮影した写真については、後日パソコンやスマートフォンでの閲覧および販売期間を設ける予定です。その際に必要なIDやパスワードは、追って連絡させていただきます。

なお、写真販売についてのお問い合わせは、学校ではなく直接トクダ写真館へお願いします。